

遠隔教育特講

第15講 「教える」から「学ぶ」への変革

久世 均(岐阜女子大学)

第15講 「教える」から「学ぶ」への変革

【目 的】

行動主義の代表としてはバラス・スキナー (B.F.Skinner) , 認知主義の代表としてはピアジェ (J. Piaget) の理論を取り上げ, カリキュラム改革運動期における教授・学習論について考える. さらに, 構成主義的学習論から社会的構成主義に至る経緯を考える.

【学習到達目標】

- 教授学習に関する基本的な理論を具体的に説明できる.
- 行動主義と認知主義の2つの学習論の区別を説明できる.

学ぶとは？

教授・学習理論の変遷

1960年代 **行動主義的学習論**→スキナー (B.F.Skinner)
認知主義的学習論→ピアジェ (J.Piaget)



1980年代 **構成主義的学習論**



1990年代 **社会的構成主義的学習論**
→ヴィゴツキー (Gotsky.L.S)

行動主義的学習論

学習者の刺激に対する反応のみに注目し、学習成立の有無を判断しようとするもので、学習者の心的なプロセスは分析の対象としない学習論



学習者の行動から学習の成立

行動主義的学習論

よくわかりました



わかったならやってみせなさい

行動主義的学習論

1. 行動主義的

(学習とは、目に見える行動の変化)

◆オペラント条件づけ

偶発的行動に正の強化を与えると

その行動が生起しやすくなる

⇒学習は訓練によってだれにでも身につけさせることができる

◆刺激(Stimulus) > 反応(Response)

行動主義的学習論

プログラム学習--スキナー (B.F.Skinner)

1. スモールステップ (small Step)
2. 自己ペース (self pacing)
3. 即フィードバック (immediately reconfirming)
4. 積極的反応 (active responding)
5. 学習者検証 (student testing)

行動主義的学習論

◆行動主義の課題

動物ではうまくいく

訓練式（頭を使わない）場合はうまくいく

◆報酬の問題

＞ 個人

人間は知的好奇心

＞ 自分からかわりを持とうとする
思考する、考える、創り出す

認知主義的学習論

子どもの学習の成立を発達段階に応じた新たな Schemaの獲得と位置づけた。

Schema = 子どもが発達していく段階で外部事象を取り入れるために既存の心的構造



学習とは、頭の中での変化を含む変容、学習のプロセスも含む

認知主義的学習論

■ 人間は同化と調節を繰り返して、物事を理解していく

- 同化とは長期記憶貯蔵庫の中にある情報を組み合わせ、新しい情報を消化すること
- 調節とは、長期記憶貯蔵庫の中にある情報の組み合わせだけでは、消化し切れないときに、長期記憶貯蔵庫の中にある情報を多少変形させたりして、新しい情報を消化すること

認知主義的学習論

学習とは、頭の中での変化を含む変容、学習のプロセスも含む

◆ 認知・発達

-- ピアジェ (J.J.Piaget) (発達心理学)

人間には、もともと好奇心があり、外界に働きかける
学 (まな) びはその関わりの中で生じる

◆ 自主的な働きかけ > 系からの応答

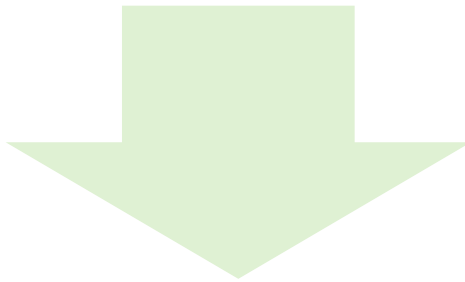
約束事を理解・対応

ピアジェの同化と調節の考えを基礎

人間の情報処理のメカニズム

構成主義的学習論

構成主義とは、学習者たち一人一人が教えられている対象の概念を組み立てていくように教えるという考えです。



学習者側からの能動的な学習観を提唱

構成主義的学習論

◆学習を「受動的なもの」から「能動的なもの」として捉え直す

◆人は自らのいる環境で回りにある材料を使って行動する過程で自らさまざまな概念や知識を学び取るのである

◆「学習は個人の活動であり、学習の効果は個人の能力として評価される」という学習観

構成主義的学習論

【学校】

人の手を借りてテストを受けるのはカンニング



【社会】

他人に知恵を借りたり、お互いにできない部分を補いあったり、得意な部分を活かしあったりして、仕事を達成している。

社会構成主義的学習論

学校教育における教師の役割や子どもの協同的な活動の中に、子どもの発達に関わる意義を見いだした。



「発達の最近接領域」論

行動主義学習論と認知主義的学習論

【まとめ】

① 行動主義的（学習とは、目に見える行動の変化）

- ・短期的で、トレーニング性の強いもの
- ・考えずにできるようになる（ルーチン）
- ・習慣的なリテラシーパフォーマンス、ペーパーテスト

② 認知主義的（学習とは、頭の中での変化を含む 変容、学習のプロセスも含む）

- ・問題解決型の学習判断力
- ・未知の問題への挑戦力見抜く目
- ・読解力・科学的思考
新しい方法、評価観

課 題

1. 行動主義的学習論と認知主義的学習論，構成主義的学習論に対応した課題（問題）を作成しなさい。
2. 社会人の学習方法の特徴について具体例を挙げて説明しなさい。
3. GIGAスクール構想における「教える」から「学ぶ」に転換するための工夫について具体例を挙げて説明しなさい。

第15講 「教える」から「学ぶ」への変革

【目 的】

行動主義の代表としてはバラス・スキナー (B.F.Skinner) , 認知主義の代表としてはピアジェ (J. Piaget) の理論を取り上げ, カリキュラム改革運動期における教授・学習論について考える. さらに, 構成主義的学習論から社会的構成主義に至る経緯を考える.

【学習到達目標】

- 教授学習に関する基本的な理論を具体的に説明できる.
- 行動主義と認知主義の2つの学習論の区別を説明できる.

遠隔教育特講

第15講 「教える」から「学ぶ」への変革

久世 均(岐阜女子大学)